

地盤工学会関東支部 研究委員会グループ
第 2 回議事メモ

場 所 : 地盤工学会会議室
日 時 : 2011 年 1 月 12 日 15:00~17:00
出席者 : 小椋副支部長 (研究委員会 G 担当), 伊藤リーダー幹事, 三反畑幹事, 大林幹事, 清木幹事, スレン幹事, 寺倉幹事, 小林幹事
欠席者 : 宮田幹事, 佐々木幹事, 村上幹事, 大久保幹事, 村上幹事

1. 委員会審議事項

1) 新任幹事のご紹介

廃石膏ボード委員会 幹事 小林正樹 ((株) デイ・シイ)

2) 研究委員会の方向性について

菊池幹事長からのお願い (青木さん経由で) について, 以下の意見が出た。

- ・土木学会ではサロンのような委員会があり, 以前には仕分けがあったようだ。
- ・終わりのない委員会とはどのような意味・意図なのか?
→菊池幹事長に伊藤から確認する
- ・活動しているかしていないかは議事録を公開すれば分かるのではないか?
- ・基本的には, 菊池幹事長の危惧されるような委員会は関東支部には無い

3) 新規研究委員会発足に関する提案

「支部指定型」と「公募自由型」の研究委員会について, 以下のような意見が出た。

- ・「支部指定型」の選定についての透明性確保が重要ではないか?
- ・関東地域特有の問題については研究委員会として継続的に行うべきではないか?
- ・委員会の選定は研究委員会 G よりも上に継続的な組織で議論するべきではないか?
- ・テーマを選ぶのは「運営委員会」であり, その下準備をするのが「研究委員会グループ」
- ・関東支部は発足してから 7 年で, まだ安定期ではないので, もう少しすれば一定の場所に収束するのではないか?
- ・本部の調査研究委員会との棲み分け・連絡調整は今後の課題
- ・支部特有のテーマ以外に全国的なテーマも扱うようになってきたので, 支部～支部や本部～支部の連携・調整が必要
- ・研究委員会は何件まで走ることが出来るのか?
- ・若手や女性主体の委員会は, 「支部指定型」で支部が主体となって設立する。

「フォローアップ委員会」について, 以下のような意見が出た。

- ・Geo-kanto2010 で日下部会長が本部でも検討するということがあったので, その結論も確認して検討する。
- ・現在, 普及活動委員会では委員に委嘱状が出ていないので, 休暇を取って参加している方

もいる。→事務局に委嘱状を出すことが可能か聞いてみる

- ・「採択・評価シート」について、以下のような意見が出た。
- ・運営委員会での議論も踏まえて、主観的な評価シートとする。

4) 応募された委員会テーマについて

次年度 2 テーマの応募があった。(資料 2-2~3)

- ・江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析・評価に関する研究委員会
 - ✓ 前回の応募よりも明確になっているので、良いのではないか
 - ✓ 委員会内で意見を聞いたところ、興味深い研究テーマだという話が出た
- ・PCB 処理炉の研究委員会
 - ✓ PCB 処理炉が地盤工学的にどのように関係するのかが明確ではないので、応募者に詳細を聞き、採択を決定する。

今回は応募件数が少ないのでテーマを絞る必要は無いが、地盤工学的な関連を明確にすることが必要。

5) 今年度終了予定委員会の次年度以降の希望について

今年度終了予定の 2 つの委員会から次年度以降の希望が届いている。

関東地域における地盤情報データベースの運用と活用検討委員会

研究委員会活動を 3 年間継続したいという希望について、以下の意見が出た。

- ・本部の表層地盤情報データベース連携に関する研究委員会と連携するため、安田先生（表層地盤情報データベース連携に関する研究委員会委員長）に副委員長として就任を打診し内諾を頂いている。
- ・書籍「関東の地盤」には色々と問題があるので、ソフト的な改造が必要
- ・データベースに抜けがあったり、追加できるものもある
- ・委員会は継続なのか？新規なのか？今までの研究委員会との違いは？
- ・フォローアップ委員会は普及活動がメインだが、この研究委員会では研究活動を行い、データベースをより進歩化させたいため、研究委員会としたい
- ・委員会名が前 2 回と似ているので、研究活動を明確にして頂ければ良いと思う。

地盤工学におけるリスクマネジメントに関する研究委員会

普及活動委員会として 1 年程度継続したいという希望について、以下の意見が出た。

- ・普及活動委員会では委嘱状が出ていないので、休暇で参加している委員がいる
→ 委嘱状を出すように事務局に聞いてみる

両委員会とも運営委員会には希望に沿った形で提案することとした。

2. 連絡事項

1) 支部主催・本部共催講習会について (資料 2-6)

BCP 委員会が本部講習会を希望していたので、本部事業部技術普及委員会へ打診し、最終的に支部主催・本部共催講習会として開催することになった

- ・ 宅造委員会も講習会を希望している。
- ・ 本部の講習会は前年の 10 月にコンテンツを決める。
- ・ ルートは、委員会→リーダー幹事→幹事団→リーダー幹事→事業部支部派遣委員

2) 研究委員会グループ内規について (資料 2-7)

別表に審議ルート (原則) を追加した。

3) 議事録の公開のお願い (資料 2-8)

- ・ 委員会開催後、早急に議事録を公開して欲しい。

4) 学会刊行物の転載等使用許諾申請 (資料 2-9)

- ・ 委員会の報告書について、委員が「基礎工」に紹介する報文を作成したが、その転載許可について問題となった。
- ・ 著作権分類によって手順が異なる。
- ・ 報告書の作成の際に、著作権の学会への譲渡等が必要となる。

5) 今年度予算と次年度予算について

1 回にかかる交通費

廃石膏ボード	230,000
薬液注入	18,000
地下水	70,000
防災減災	20,000
火山由来	90,000
郡杭挙動	30,000
地盤リスク	70,000
地盤 DB	75,000
BCP	30,000
宅地造成	60,000

- ・ 交通費が高い研究委員会については、ある程度多くすることも考える。
- ・ 次年度の希望 (規定=30 万円) を、伊藤まで
- ・ 遠隔地からの交通費については、原則委員長指名などに限定するなどのルール化をした方が良いのではないかな?
- ・ 規定額以上の予算を希望する委員会については、上限を設け、使用用途 (内訳) を示した方が良い

6) 今後の研究委員会グループ幹事会について

原則、運営委員会の前に開催する

3. 配布資料

- 資料2-1. 議事次第
- 資料2-2. 江戸期以降の土木史跡の地盤工学的分析・評価に関する研究委員会
- 資料2-3. PCB 処理炉の研究委員会
- 資料2-4. 平成 22 年度追加公募新設委員会評価シート
- 資料2-5. 関東地域における地盤情報データベースの運用と活用検討委員会設立趣意書
- 資料2-6. 支部主催・本部共催講習会の開催までの経緯
- 資料2-7. 研究委員会グループ内規
- 資料2-8. 第 1 回幹事会議事メモ（案）
- 資料2-9. 学会刊行物の転載等使用許諾申請

以上